

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで非営利組織の『あるって くるぶ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・

どなたでも参加できますが、会員には特典があります

① あるってくるぶギャラリー ②

—活動のご報告—

◇右城眞・林義治展「古楽器製作」

・1999年7月8、9、10、11、15、16、17、18日7月、私達のゲストは「古楽器製作」の右城眞さんと林義治さんでした。作品はルネサンス・ガンバルネサンス・ギター、ルネサンス・リュート、など。現存している部品から想定して復元したり、昔の絵画から想像して設計し図面を描いて今の材料を使って復元したり、細かくて複雑な仕事です。しかも、音も再生していました。古(イニシエ)、欧羅巴デハカクアリナン。という作品で、現在のギターやリュートと比べると、弦の間隔や張り方にトリッキーな点があり、演奏しにくいと思いますが、サイズはとても人間的なスケールで、音色も音量は少ないのですがとても暖かく、音空間においても人間的なスケールを感じました。吟遊詩人達の華麗な恋を奏でる道具の展示でした。また右城さん制作のオカリナは会場の全員を演奏家にしたようです。7月10日(土)、18日(日)には立川叔男さんによる古楽器の演奏がありました。



あるって くるぶ 組曲 高橋道弘

7、炎と氷のアート 園城寺俊之 '99.3.14.日

川越駅踏切前のビルに、外階段が赤く燃えたっている。車輪が無数につらなって、屋上まで燃え上がっている。

金属を炎で造形する、制作現場は火花の中。最後にアクリル系樹脂で色あざやかによそおっている。

深海の水泡が静かに色を変えてゆき、もずくが黒く支え、海水が水圧ですみわたる。

氷にとじこめられた水泡の静物画もある。水がすみ、光が散乱する。氷面は静かに緑をたたえる。

制作現場には炎と火花が飛びかっているが、作家は静かにすべてを語った。日が暮れた。

Wow

① —これからのスケジュール— ②

◆あるって くるぶ企画展

百鬼丸展「立体切り絵」

1999年9月2、3、4、5、9、10、11、12日9月2日(木)17:00～オープニングパーティーです

⇒作家プロフィール

1951年山梨県生まれ。東洋大学工学部建築学科卒 '92年宇治市役所陶壁画制作、'96朝日新聞連載白石一郎著「異人館」挿絵、'97年第6回日本文芸家クラブ大賞美術部門賞受賞、現在週刊新潮連載佐江衆一著「クィーンズ海流」挿絵、11月より宮部みゆきと週刊文春に連載開始

柴野 利彦展「平面」

1999年9月23、24、25、26、30、10月1、2、3日9月23日(木)17:00～オープニングパーティーで、柴野さつきさんのミニコンサートがあります。

⇒作家プロフィール

1971年東京学芸大学美術科卒業。在学中は「現代美術研究会」を主宰。卒業と同時にフジテレビ・フジプロダクションにてワイドショーのコーナーディレクターを担当する。'7年6月に退職し、1年間かけてユーラシア大陸を一周する。'79年から2年半パリに滞在。帰国後、旅行雑誌、科学雑誌、月刊誌、新聞等の写真と文章の仕事をして現在に到る。写真集に「グローリー」('99年7月発刊)、「イノセント」('99年9月発刊予定)がある。その他、詩集、童話環境問題に関する著書などがある。これまでに写真展を8回、美術の個展を4回開いている。

根岸 和弘展「平面」 1999年10月21日～31日

和田 章 展「陶」 1999年11月18日～28日

たべけんぞう展「立体」 1999年12月9日～19日

楽しくて、ちょっと悲しいクリスマスの展示です

◆お知らせです

第21回 立川叔男演奏会「女王陛下のリュート弾き」

日時：1999年9月4日(土)6:30pm開演

¥2,500 要予約(6:00～コーヒーサービス)

熊谷守一美術館2階 ギャラリー棟 03-3957-3779

①お申し込みは上記か立川音楽工房042-944-3185 ②

あるってくるぶ ワークショップ

—活動のご報告—

■入間市近代建築見学会

- ・ 7月17日(土) 晴
- ・ 参加者 60名ぐらい

思いがけず(連絡もなく)たくさんの皆さんが参加され、用意した資料が足らなくなり、お手元に渡らなかった方にはご不自由をおかけしました。町歩きには暑すぎる日でしたが、それぞれに収穫の多い一日であったように思われます。

旧黒須銀行 明治42年完成

隣のお醤油屋さん、とりあえず町並みを形成している。荒れてはいるが裏の蔵と群として残っている。駅からの道路沿いにも、蔵や木造の工場が点在する。旧黒須銀行本店は入間市指定文化財(建造物)に指定されている。歩道橋が残念!

武蔵豊岡教会 大正12年

牧師さんや信者の皆さんのお世話によりきれいに残っています。当日もホール部分の床の改装、電気工事などが行われていました。ポーリスのヒューマンスケールを強く感じさせる建物です。また敷地が都市計画道路にかかっています。

石川邸 大正11年~12年

木造2階建て、外装が化粧煉瓦タイル張りの西洋館は旧態がよく保存されています。特に内装は、迎賓館時代の様子を今日によくつたえるもので、石川さんご一家のご苦勞がしのばれました。

・ 教会と西洋館の敷地は霞川の河岸段丘に位置し、特に西洋館は背面に斜面林を配し、河岸段丘特有の地形を示しています。教会の門からは西洋館が正面の丘に望まれ、いずれも地域整備の核となるものであると思われま。今後の展開に期待するとともに、幅広い人材を擁する「アルテ クルブ」としても何らかの提案が出来ないものかと思ひます。資料をご希望の方は草野までご連絡下さい。

あるってくるぶ コンサート

—活動のご報告—

♪・右城眞・林義治展「古楽器製作」

オープニングコンサート! 7月10日(土)

立川 叔男氏(古楽器演奏家)による古楽器の演奏がありました。使われた楽器は、ルネサンスギター、ルネサンスリュート、シターン、ルネサンスガンバ、ハーディガーディなど。曲はルネサンスのジグやガリヤードなど、明るけれど少し悲しい俗曲。旋律を横糸に和音を縦糸に、立川さんのCDタイトルに「音織り人」という1枚がありますが、まさしくそのテクスチャーは暖かさとしさを感じさせ、演奏を聞くとというより、指先から昔の物語が語られているのではないかと思います。

『こんな風に口説かれたら誰だっていちこころですよ!』



—これからのスケジュール—

□会場当番ボランティア・募集のお知らせ

「あるってくるぶ」はボランティアが自主的に参加して、様々な芸術活動やまちづくり運動を支援している会です。そのなかに会員の一人々がギャラリーのオーナーになる日があります。あなたもそんな支援者として、作家と時間を共有し、新しい自分を発見してみませんか?

☆期日: 9月2(木)、3(金)、4(土)、5(日)
9(木)、10(金)、11(土)、12(日)
9月23(木)、24(金)、25(土)、26(日)
30(木)、10月1(金)、2(土)、3(日)

時間: 前半 12:00~16:00

後半 16:00~19:00 いずれか

会場当番は時間が拘束されます、参加された方には薄謝の他、ポイントを差し上げたいと思います。年末のプレゼントをお楽しみに! 参加を希望される方は草野までご連絡下さい。

□「パラソル・ショップ」のお知らせです!

越生の無農薬、有機栽培の野菜を販売します

9月11日(土) 12:00~14:00

三番町ギャラリー、テラスにて

・ 越生さくらの郷計画は8月中に計画案が縦覧され、誰でも意見を言うことが出来るようになるそうです。

□美術館見学・ハラ ミュージアム アーク(渋川)

8月29日(日) 10:00 a.m 三番町ギャラリー 出発

□建築町並み見学会の予定

・ 自由学園(工事中なので今のうちに)

・ 旧東京市宮古石場住宅(江東区)

スケジュールが決まりましたらお知らせします。

□葛飾区都市計画マスタープランは4回の住民勉強会

とシンポジウムを経て、住民自立版「かつしかまちかどネットワーク」通称「かつしかまちネット」

が発足しつつあります。今まで、月2回ぐらいの

打ち合わせを重ね、9月にはワークショップが始まります。乞うご期待! 9月25日(日) 決定!

—これからのスケジュール—

♪・<アルテクルブ文楽講座>・ギャラリートーク

講師: 文楽太夫・竹本文字久太夫

(師匠は人間国宝の竹本住太夫)

日時: 9月20日(月) pm6:15~7:45

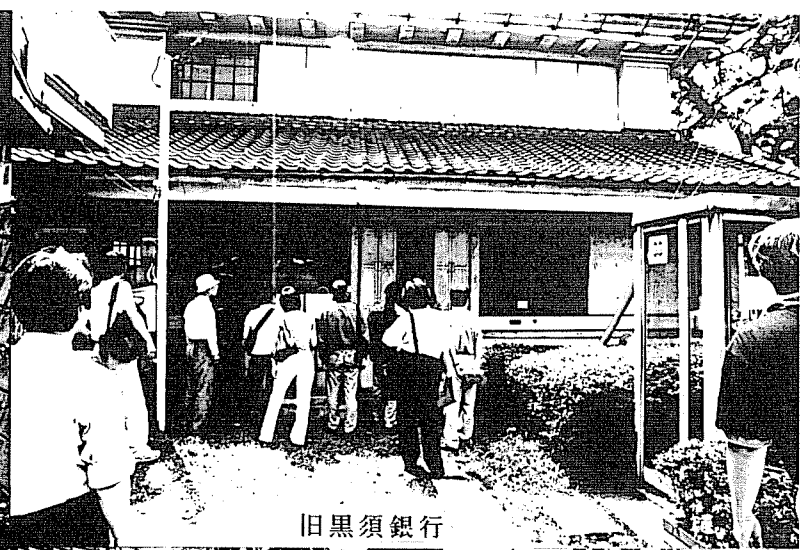
この後、文字久太夫さんは大阪へ帰ります
会場: 三番町ギャラリー

内容: 来年3月上福岡市で公演する演目の紹介と文楽の楽しみ方いろいろ

☆前日の19日には国立劇場で、ひらかな盛衰記 新版歌祭文、良弁杉由来、艶姿女舞衣などの公演があります。そちらもお楽しみに!



駅を出発



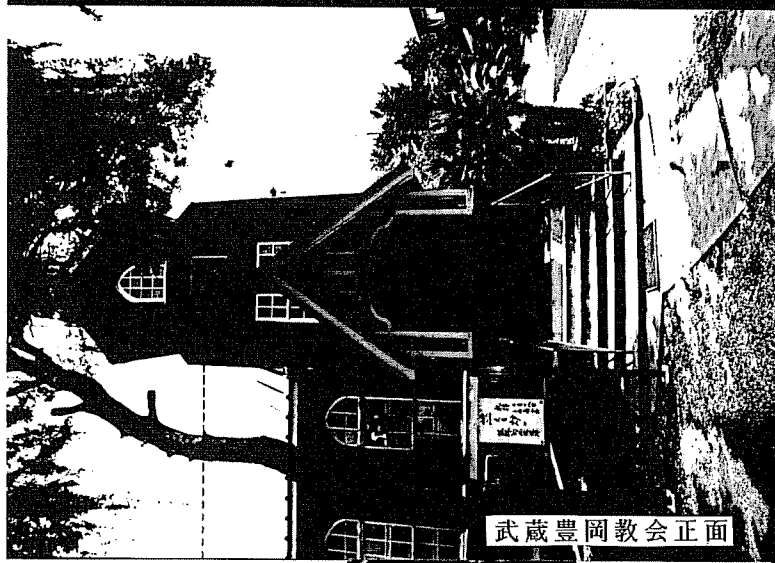
旧黒須銀行



旧黒須銀行内部



武蔵豊岡教会前庭にて



武蔵豊岡教会正面



教会内部



石川邸アプローチ



ダイニングルーム